

目 次

I. 総括研究報告

- C 型肝炎を含む代謝関連肝がんの病態解明及び治療法の開発等に関する研究-----5
小池 和彦

II. 分担研究報告

1. C 型肝炎の病態・進展に及ぼす PNPLA3 遺伝子多型-----31
岡上 武
2. 肝発癌における PPAR- の役割に関する研究-----37
西原 利治
3. 非アルコール性脂肪性肝障害を基盤とした肝細胞癌に関する病理組織学的検討-----41
橋本 悦子
4. HCV および NASH による代謝パスウェイ異常と肝細胞癌の関連解析研究-----47
田中 真二
5. インスリン抵抗性と NASH 病態の分子機構の解明に関する研究-----51
植木浩二郎
6. C 型肝炎肝発癌における代謝要因・ウイルス要因の影響-----54
芥田 憲夫
7. 非アルコール性脂肪性肝炎マウスモデルにおける消化管ホルモンと肝脂肪酸組成に関する研究-----58
川口 巧
8. アポリポ蛋白質の両親媒性 α ヘリックスは HCV の感染性粒子産生に關与する-----65
松浦 善治
9. C 型肝炎ウイルス感染培養系による C 型肝炎関連肝がんと代謝因子に関する研究-----68
勝二 郁夫

10. 胆汁酸による代謝変化に関する研究-----	72
森屋 恭爾	
11. 我が国における非 B 非 C 肝癌の背景因子の検討（共同研究）-----	75
建石 良介	
III. 研究成果に関連した刊行物（総説抜粋）-----	78